



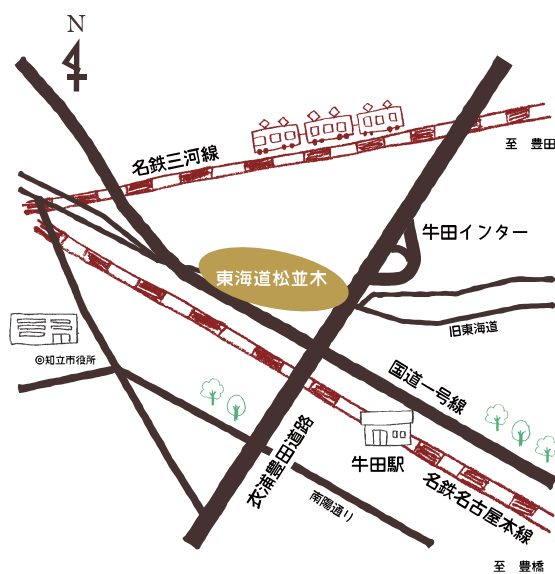
## いま 未来へ 過去から現在そして将来へ — 東海道松並木の新しい風景

### 野外彫刻プロムナード展15周年記念事業

2000年パティオ池鯉鮒(文化会館)がオープンし、開館とあわせてエントランスロード(導入路)に野外彫刻を設置するスペースが設けられました。この場所からスタートした「野外彫刻プロムナード展」は若手作家の作品を紹介する場として、愛知教育大学彫刻研究室の在学学生、卒業生の作品を毎年入れ替え展示する展覧会としてこれまで15回開催されました。

開催15回を記念し、東海道松並木周辺の遊歩道に「ちりゅうにちなんだもの」とテーマを設け、新しい彫刻のある風景作りをおこないました。

知立市は東海道39番目の宿場町として、江戸時代には多くの旅人がこの地を訪れ松並木を往き来しました。今でも松並木は大切に保存され、観光名所として行き交うひとが多くいます。このような歴史と現在、私たちが感じている思いや知立市の魅力を将来につないでいけるような場所に、そして東海道松並木がもつ威厳とアートのもつ魅力が相乗効果をなし、皆様に愛される作品となりますように。



●東海道松並木へお越しの方へ

[場所] 知立市御林地内

[電車] 名古屋鉄道「牛田駅」より徒歩10分